

岩沼市上空よりヘリコプターで撮影
(2011年4月21日)



国際森林年記念事業

東北にもう一度、 白砂青松を取り戻したい

海岸林を再生するために私たちに何ができるか

2011年7月11日(月) 17:30~20:30 **参加費:無料**

東京 千駄ヶ谷「津田ホール」3階 日英同時通訳

日本では、海岸の松林の美しい景色を「白砂青松」と呼び、古くから大切に守ってきました。美しいだけではなく、防砂、防風、防災などたくさんの機能がある松林が、東日本大震災により2,000ha以上失われました。しかし、木を植える状況になるまでには、また、もとの様な姿に戻るには、相当の年月が必要です。オイスカとしては、震災直後より林野庁をはじめとする関係機関と協議し、独自の調査も行っており参りました。今回のシンポジウムでは、上空と陸上からの調査映像などにより、現状を多くの方に知って頂くとともに、あらためて海岸林の持つ機能を認識し、再生への方向性をお伝えしたいと思います。また、海岸林は世界共通の存在です。そして今年は国際森林年でもあります。この復興のプロセスを海外の人にも発信し、一緒に行動したいと考えます。





国際森林年記念事業

東北にもう一度、 白砂青松を取り戻したい 海岸林を再生するために私たちに何ができるか

主 催／  公益財団法人 **オイスカ**

後 援／ 林野庁、国際森林年国内委員会、国連森林フォーラム、
日本経団連自然保護協議会、連合、日本財団、日経BP
環境経営フォーラム、外国人特派員クラブ(予定)

特別協賛／ 国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」(予定)

開催日時／ 2011年7月11日(月) 17:30～20:30

場 所／ 東京 千駄ヶ谷「津田ホール」3階(定員500名)
JR線「千駄ヶ谷」駅、都営大江戸線「国立競技場」
駅(A4出口)下車
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24
Tel: 03-3402-1851
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

参 加 費／ 無料

日英同時通訳

※会場は冷房を控えています。クールビズなどの軽装でお越しください。

募金のお願い

東北にもう一度、白砂青松を取り戻したい

～苗づくりからスタートする再生に、協力をお願いします～

■銀 行 名：三菱東京UFJ銀行 永福町支店

■口 座 名：公益財団法人オイスカ

■口座番号：普通預金 0054080

プログラム

日英同時通訳つき

司 会／ 戸塚貴久子(フリーアナウンサー)

- ① 航空・陸上調査ビデオレポート(30分)
NGOアース・ブレイクスルー 代表 菅文彦氏
- ② 主催者挨拶
公益財団法人オイスカ 会長 中野良子
- ③ ビデオメッセージ上映
国連森林フォーラム 事務局長 Ms.Jan L. McAlpine氏
- ④ 2004年インド洋沖大津波からの復興への取り組み
オイスカ・インドネシア・アチェ州駐在員 Dewi Wahyuni
- ⑤ 海岸林再生の考え方
林野庁 治山課 山地災害対策室長 井上晋氏
- ⑥ パネルディスカッション
海岸林とはそもそも何か。今後どのように再生してゆくののか。

 - ・進行／NGOアース・ブレイクスルー 代表 菅文彦氏
 - ・国民的関与・参加に向けて／林野庁 長官 皆川芳嗣氏
 - ・「森林の再生・保全」専門家の立場から／
林野庁「東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する
検討会」座長 東京大学名誉教授 太田猛彦氏
 - ・地元住民の立場から／
名取市東部震災復興の会 会長 鈴木英二氏
 - ・農業・生活・防災の観点から／
宮城中央森林組合 業務部森林活用課長 佐々木勝義氏
 - ・スマトラ沖大津波からの復興に関わった立場から／
オイスカ・インドネシア・アチェ州駐在員 Dewi Wahyuni
(アジア開発銀行JFPR9072/9073プロジェクト担当)
 - ・我々市民は今後何ができるか／
公益財団法人オイスカ 副理事長 渡辺忠
- ⑦ クロージングメッセージ
外国人代表
- ⑧ 閉会挨拶
公益財団法人オイスカ理事長 中野利弘

お申し込み方法

FAXもしくはホームページよりお申し込みください。

FAX番号 03-3324-7111 FAXは下記の表に必要な事項をご記入してお送りください。(公益財団法人オイスカ「7月11日シンポジウム」担当)
ホームページ <http://www.oisca.org/> よりお申し込みください。

フリガナ			
氏 名		所 属	
住 所	〒 E-mail		
当日聞きたい事			